



超満員の参加者に挨拶する各共産党予定候補者
＝つくば国際会議場(第一会場)



小池晃党書記局長

13日、小池晃党書記局長を迎え、日本共産党大演説会が、つくば国際会議場で行われました。第2会場を含め1800名を超える参加で、取手からも大勢参加しました。

演説会では、初めに、12月の県議選をたたかう上野たかし県議ら3人と、梅村さえこ参院比例代表予定候補者、大内くみ子参院茨城選挙区予定候補らが決意表明。

小池晃党書記局長は、森友・加計疑惑や自衛隊日報の隠ぺい、働き方改革のでたらめ資料提出、北朝鮮問題など、国政や世界の動きについて、日本共産党の見解・取り組みを紹介しました。

県議選・参院選での躍進を

今年12月の県議選で、日本共産党の県議団を強く大きくし、大型開発優先で、暮らし・福祉に冷たい県政を変えよう。来年の参院選では、市民と野党の共闘を更に広げ、主権者国民の声で動く社会とするため、確かな展望を持つ日本共産党への支持を大きく広げていただきたいと、訴えました。会場からは多額のカンパが寄せられました。

なお当日は、つくば・稲敷・結城・筑西・常総の各市市長。二見伸明元公明党副委員長や自由党小沢一郎後援会・茨城一新会会長の畑静枝さん、昨年の知事選で、市民と野党の共同候補 鶴田まこみさんから祝電・メッセージが寄せられました。

5/13
日本共産党
つくば演説会

12月
県議選・
来年
参院選での躍進を必ず
「安倍政治」終わらせ、
新しい政治を

子ども達の明るい未来へ

再選へ全力を尽くします

上野たかし あいさつ

市内各駅頭での早朝宣伝では「デタラメな安部さんはもう終わりにしたい」という声がよく寄せられます。「茨城の自民党議席も多すぎる。共産党がんばれよ」などの声も。

12月の県議選では、選挙区が「利根・取手」から取手市

だけの選挙区となり、定数も3から2へと減らされます。暮らし破壊の自民党の2議席独占は許されません。

私の初心は、「子ども達の明るい未来、と福祉の実現」。必ず再選を勝ち取るため全力を尽くします。

国会・会期末を控え、相次ぐ悪法の審議強行 日本共産党が対案

まともな働き方改革を

国会は会期末を迎え自公政権は森友・加計疑惑にフタをしたまま、一連の悪法を力ずくで押し通そうとして審議強行に突き進んでいます。中でも政権が最重要法案と位置づける「働き方改革」一括法案は引用データの2割は偽り、こんな法案白紙撤回する以外ありません。

残業上限月 45 時間

日本共産党は、政府が審議入りを強行した「働き方改革」一括法案の対案として、『『働かせ方』大改悪をやめさせ、まともな働き方改革を実現するため

に」と題した「労働基準法等改正大綱」を11日発表しました。山下よしき党副委員長・参院議員らが11日、記者会見。山下氏は「労働時間を捏造し、野村不動産の過労死自殺を隠してきた安倍内閣に働き方改革を語る資格はない」と指摘。「大綱」では▼政府案の「高度プロフェッショナル制度」は労働時間規制を外し、過労死を促進・合法化するものであり削除▼残業時間の上限は政府案が「月100時間未満」など過労死水準を法的に容認しているのに対し、週15時間、月45時間、年360時間を労基法に明記▼「サービス残業」は残業代を2倍にする――などです。

安倍9条改憲NO!

3000万人
署名にあなたも

写真は、「憲法守れ」の茨城集会＝5月3日水戸・千波湖畔



全国で1350万・茨城30万超えた!

「安倍改憲 NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)は、全国各地での努力の積み上げにより、4月30日現在で署名数が1350万人を超えました(5月3日、東京憲法集会報告)。茨城でも30万を超え、取手では7000筆超の署名が寄せられています。

集められた署名は今国会での提出期限ぎりぎりの6月12日に全国市民アクション実行委員会として衆参両院に最初の提出を予定しています。

安倍政権の数々の疑惑と不祥事で支持率急低下の下、3000万めざして引き続き協力をお願いします。



結成集会で「国内で最も動かしてはいけない原発だ」と訴える村上達也さん(元東海村村長)=参議院議員会館
← 連絡会総会で発言する 上野たかし 県議。



「止めよう東海第2原発 首都圏連絡会」に参加

原発ゼロ・廃炉運動の広がり 上野たかし

6月茨城県議会(6月1～18日)を前に、県民要望を伺う機会が増えてきました。

5月21日に参院議員会館での「止めよう東海第2原発首都圏連絡会」の結成集会に参加。東京や茨城など1都7県から参加がありました。

集会では栃木県益子市や我孫子市から「東海第2原発廃炉を求める意見書」を採択した」と報告がありました。

福島原発事故時は取手始め柏、松戸などが放射能のホットスポットとなりました。私・上野は「取手市は福島原発から200km、東海第2からわずか80kmですが、東海村民2万4千人が1人2㎡の場所に1か月間避難する計画です。福島の実状を見れば1か月では帰れない。避難者を受け入れる自治体も『今の計画では困難』としています。何としても廃炉に」と発言しました。

5月20日、NHK「日曜討論」では北朝鮮問題についても討論となり、各党代表が論じました。

6月に予定される米朝首脳会談をめぐり、自民党・萩生田氏は「米朝や国連による経済制裁などの圧力が功を奏し事態が動き始めた。日本人拉致問題はトランプ大統領を通じて解決の糸口を見出す」などと「トランプ頼り」の姿勢を示しました。

紆余曲折はあると思うがこの方法しかない

日本共産党の小池晃氏は

北朝鮮問題 各党代表が討論
「対話で問題解決する大きな流れが」小池晃 書記局長

「対話で問題解決する大きな流れが始まっているとして、朝鮮戦争の終結を宣言し、非核化と平和体制の構築を同時に進めるとした、4月の南北首脳会談を高く評価。紆余曲折はあると思うがこの方向でしか開放の道はない」と述べ、米朝会談では非核に踏み込んだ合意がされることを期待。圧力一辺倒の安倍政権を改め日本が主体的に外交戦略を行って、平和・協力・繁栄の北東アジアをつくる外交への切り替えを主張しました。

6月議会

「くらし・子育て応援を」の声、実現へ

県議・市議団全力を尽くします

日本共産党取手市委員会が3月から4月にかけて実施した市民アンケート。511通の回答が寄せられました。
暮らし向きが苦しくなった44% ●安倍改憲ノ170% ●東海第2原発廃炉71% ●消費税増税反対65%などの声が寄せられました。ご協力ありがとうございました。
6月開会の県・市議会に要求を反映させるなど、日本共産党は実現に全力を尽くします。

6月取手市議会
6月7～22日



加増みつ子市議

市民生活第一の税金の使い方を求めます

- ・西口再開発の全貌を市民に公開し、見直し・縮小を図れ。公共施設の導入は市民合意で
- ・子育て、介護、生活重視の街づくり



関戸勇市議

水道料金値下げなど

- ・水道料金の値下げを求める市民の声に取手市としていかに応えるか。水道料金の仕組みの見直しを県に求めるべき
- ・大地震へ備え、行政として被害を想定し万全の対応を求める



遠山ちえ子市議

学校給食の無償化関連など

- ・学校給食の無償化、農業支援を取り上げます
- ・市内で業者が検討しているギャンブル施設設置について市の考えを質します



小池えつ子市議

市民要求実現に向けて

- ・住宅政策の充実で魅力あるまちづくり
- ・東口バリアフリー化整備の早期実現
- ・バスの増便で安心して利用しやすいコミュニティバス運行を求めます

日本共産党、市議会での質問項目

『女性が輝く社会をめざして』

取手市の「女性議員による議会改革特別委員会」は、妊娠・出産以外に、男女共通の問題である育児・看護・病気・介護など、女性が政治へ参加しやすい議会づくりに向け調査を行ってきました。さらに、妊娠・出産などの欠席事由を検討、議会棟バリアフリー整備や子ども連れでの議会活動等を審査してきました。

県内市町村と我孫子・柏・松戸の女性議員45名参加の意見交流会も実施しました。

今後は市の障がい者ネットワーク、男女共同参画審議会との意見交換会も行い、市への提言と国への意見書をまとめ、働く女性の権利の保障など女性に元気や勇気を与えられる一石にしたいものです。

市議会議員 小池えつ子

弁護士による無料法律相談ご利用ください(毎月1回)
次回6月18日 お問合わせ TEL 0297-72-7816